

人権リーフレット

「やさしい心」より

○【高齢者】

我が国の現状は、平均寿命の大幅な伸びや少子化などを背景として、人口の4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。こうした状況の中、身体的・心理的・経済的虐待といった高齢者の人権問題が生じています。

すべての高齢者が、これまで果たしてきた役割や功績とともに尊重される社会、また長年培ってきた知識や経験を活かして地域の担い手として生きがいをもって暮らせる社会を実現するために高齢者についての理解を深め、高齢者を大切にす

○障害者

「ノーマライゼーション」（障害のある人も地域の中で普通の暮らしができる社会）理念に基づき、障害の有無にかかわらず誰もがいきいきと暮らせるよう、さまざまな分野において整備が進められています。また、障害者の自立と社会、経済、文化活動等への参加を促進するための取組も進められています。

しかし、どんなに法整備やバリアフリー化が進んでも、社会に暮らす一人ひとりの「心のバリアー」を取り除かなければ、障害者に対する理解は広がりません。障害を人それぞれが持っている個性の一つとしてとらえることが重要で、障害を理由に差別されることがあってはなりません。誰もが安心して暮らせる社会に向け、一人ひとりが自分の問題として考えていくことが大切です。

隣保館
NEWS

隣保館

粕川町西田面192-1

☎ 285-5534 FAX 285-5541

○「人権を考える市民のつどい」

の開催について

部落解放同盟前橋市協議会が主催し、前橋市及び前橋市教育委員会が後援する「人権を考える市民のつどい」が次のとおり開催されます。

- ・日時＝令和6年2月24日（土）
午後1時30分～午後4時20分（開場は午後1時）
- ・会場＝粕川公民館 大ホール
（前橋市粕川町西田面194-4）
- ・対象＝200人（先着順）
- ・内容＝粕川地区小中学生の代表者による人権作文発表会、映画「あん」の上映会
- ・その他＝開会行事と人権作文発表時には手話通訳があります。映画は、日本語字幕付きです。
- ・申込み＝令和6年2月20日（火）までに参加者の住所、氏名、電話番号を電話又はFAXで前橋市隣保館（電話：027-285-5534 FAX：027-285-5541）まで。

○小学生の人権標語作品の展示

1月号に引き続き、ご案内をさせていただきます

す。粕川地区の各小学校から推薦していただきました人権標語の入賞作品の展示を、前橋市隣保館ホールにおいて次のとおり行っています。皆様ご来場のうえご覧ください。

- ・展示期間＝令和6年3月8日（金）まで
[土日及び休日を除く。]
- ・展示時間＝午前8時30分から午後5時15分まで

○粕川保育所子育て支援センターの講座

（会場は前橋市隣保館）

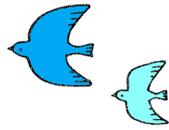
- ① 2月7日（水）育児講座「手形アート」
第1部午前9時45分～10時45分（親子5組）
第2部午前11時00分～12時00分（親子5組）
- ② 2月8日（木）育児講座「手形アート」
第1部午前9時30分～10時30分（親子5組）
第2部午前10時45分～11時45分（親子5組）
- ③ 2月22日（木）育児講座「お話の会」
午前10時30分～11時30分（親子10組）

【問合せ・申込み】粕川保育所

子育て支援センター 電話285-2107

小学生の

人権作文を紹介



人権とは

いのうえ ゆうき

粕川小4年 井上 結貴

「人権とはなんだろう」

授業がはじまった時、ぼくは、そう心の中で思った。ぼくは人権がよく分からないまま授業がスタートした。ぼくは人権とは最初は、人がこまっていたら助けるというイメージだった。四年生では、総合で「みんなにやさしい社会づくり」というふくしの勉強をしている。授業が進んでいくうちに、人権とはなんだろうという質問が分かっていく気がした。

ぼくには、目が見えないおじいちゃんがいる。おじいちゃんは目が見えないのでつらそうだった。けれど、目が見えないかわりに耳がすごくいい。小さな物音でもおじいちゃんはすぐに分かる。おじいちゃんには、音が目で見えているようだ。ぼくとお兄ちゃんの子どものころの顔や足とかは分かるが、今のすがたは分からない。ぼくたちのすがたが見えないのはつらいだろう。おじいちゃんはぼくたちの体をさわってどのくらい大きくなったのかを確認する。でも、やはりちゃんとおじいちゃんの目で見たいようだった。おじいちゃんにご飯を食べる時はどこにはしがあってどこに何の食べ物があるか分からないから、どこにあるよと教えてあげている。ぼくが目が見えなかったら、ゲームやテレビも見られないし、友達とも遊べなくなってしまう。

ぼくは、総合の授業で、バリアフリーやユニバーサルデザインを習った。世の中にはこんなにも体が不自由な人のたいさくがされていたり、こんなにもせつびや機械がつくられたりしているのだと、初めて知った。ぼくは、高齢者体験もした。高齢者体験は、とても体が重く、首を上にあげるだけでとても痛かった。目にゴーグルを付けると全然見えない。ぼくのおじいちゃんはとても大変なんだなと思った。友達と二人組で階段を上ってみると、こんなにも手すりがないと楽なんだなと思った。バリアフリーがこんなにも大切だったとは、このような体験をしてみないと実感できなかった。また、点字体験が一番むずかしかった。点字を打つのも読むのもむずかしかったが、特に読むのがむずかしかった。目をつぶったまま指先で読み取ろうとしたが全然分からない。目が見えないのに読み取るなんて、不かのうに近いと思った。目が見えない人は、その分すごく指先がびん感なのだなと思った。これは、おじいちゃんの耳と一緒にだ。

ふくしの学習を通してぼくが感じたことは、今まで知らなかったいろいろな大変なことやこわいことがあること、それから、みんなが自分なりの幸せをもってくらしているんだなということだ。ぼくは、「人権」とは言葉で表せない言葉なんだなと思った。言葉で考えるのではなく、行動して助け合う。そういうことなんだなと思った。ぼくは、これから、相手の立場に立って考え、せっきよくてきに声をかけたり手助けをしたりしていきたい。



自主学習グループ活動紹介

○ 粕川囲碁クラブ会員募集！

粕川囲碁クラブでは会員を募集しています。未経験者の方には丁寧にご指導します。是非、余暇を楽しむ趣味としてお気軽にご参加ください。

活動内容 = 毎週日曜日 9:00~12:00

活動場所 = 粕川公民館 第3会議室 (和室)

年会費 = ひとり 1,000円

申込み = 真下 和夫 (電話 080-5077-4392)



公民館講座 (青少年体験チャレンジ)

○ 「書き初め」で新年をスタート！

粕川公民館では新年恒例の「書き初め教室」を1月5日(金)に開催しました。粕川地区の3年生~6年生までの児童7名が参加。それぞれのお題に真剣な眼差しで取り組みました。膳書道会の先生方による丁寧な指導で、みんな納得の作品に仕上がりました。



前橋市立図書館 粕川分館だより

今月の新刊ご案内 《一般書》

- 言語化大全 (山口拓朗) ●句の鳥、憧れの鳥の探し方 (石田光史) ●「あさいち」のフライパンおかずと麺とごはん (NHK「あさいち」制作班)
- 軽便鉄道入門 (松本典久) ●笠置シヅ子信念の人生 (柏耕一) ●ヒトの幸福とはなにか (養老孟司) ●これは経費で落ちません！11 (青木祐子)
- 5分後に意外な結末ベスト・セレクション金の巻 (桃戸ハル) ●赤札始末 (坂岡真) ●椿平九郎留守居秘録10 (早見俊)

【おひさまクラブによる読み聞かせのお知らせ】

- 2月3日 (土) 午前10時30分~
- 3月2日 (土) 午前10時30分~

休館日

- 2/1 (木) . 8 (木) . 15 (木) . 22 (木) . 29 (木)
- 3/7 (木) . 14 (木) . 21 (木) . 28 (木)

《児童書・絵本》

- 名探偵コナンの12才までに歴史・地理センスを育てる165問 (青山剛昌) ●こんなときなに食べる？ (牧野直子) ●漢字びっくり事典 (こざきゆう) ●かいけつゾロリノシシいきなり王さまになる！ (原ゆたか) ●十年屋7 (廣嶋玲子) ●理花のおかしな実験室10 (やまもとふみ) ●おせちりょうり (はまのゆか) ●しまさんとことごとシチュー (タサン志麻) ●そらめくんのこしょこしょこしょ (なかやみわ) ●100ぴきかぞくゆうえんちへいく (古沢たつお)

市立図書館粕川分館 ☎027 (285) 3312

○開館時間

- < 平日 > 午前10時 ~ 午後6時
- < 土日祝 > 午前10時 ~ 午後5時

■発行日 令和6年2月1日発行
 ■編集発行 粕川公民館 〒371-0217 前橋市粕川町西田面194-4
 TEL 027-285-3311 FAX 027-230-6063

ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
 → 公民館 → 粕川公民館



WEB-SITE

